

Ahresty Report 2014

For the year ended March 31, 2014

Research, Service, Technology を追求していきます

アーレスティは、R・S・T 〈Research〉〈Service〉〈Technology〉という三つの言葉の統合です。

Rは単に研究・開発だけでなく、より一層お客様のお役に立つための創意と探求、

Sは製品の品質やアフターサービスだけでなく、お客様とのすべての接点、

そしてTはこのRとSを支える知識と技術を示しています。

私たちは常に、より品質の高いResearch、Service、Technologyを追求し、

さまざまな製品を通して、広く社会のお役に立ちたいと願っております。

アーレスティの事業

アーレスティはダイカスト業界の大手として、日本はもちろんアメリカ、中国、メキシコ、インドおよびタイに拠点を構えるグローバル企業です。

ダイカスト



高い技術を駆使し、自動車のエンジン、足回り、ボディなどのダイカスト製品を生産しています。

アルミニウム合金地金



缶、サッシ、自動車スクラップなど、多様な原料をもとに、高品質のアルミニウム合金地金を生産しています。

完成品



コンピュータールーム、クリーンルームなどにおける最新のニーズにお応えする製品を開発・提供しています。

企業情報

会社概要 (2014年3月31日現在)

商号：株式会社アーレスティ

資本金：69億3,909万円

設立：1943年11月2日

従業員数：【連結】7,044名【単独】891名

役員 (取締役および監査役の氏名(2014年3月31日現在))

代表取締役社長 最高執行責任者 高橋 新 取締役 常務執行役員 蒲生 新市 常勤監査役 古屋 茂

取締役 専務執行役員 石丸 博 社外取締役 原 隆 社外監査役 早乙女 唯夫

取締役 専務執行役員 野中 賢一 常勤監査役 見目 康夫 社外監査役 志藤 昭彦

株式情報

(2014年3月31日現在)

株式数および株主数

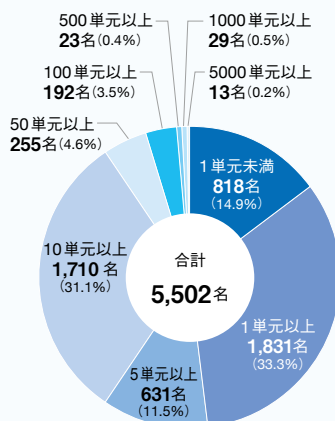
発行可能株式総数：60,000,000株 株主数：5,502名

発行済株式の総数：26,027,720株

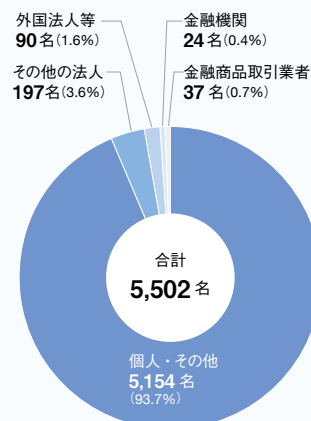
大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,385
高橋 新	915
株式会社三菱東京UFJ銀行	765
本田技研工業株式会社	672
日本軽金属株式会社	657
THE HONGKONG AND SHANGHAI BANKING CORPORATION LTD - HONG KONG PRIVATE BANKING DIVISION - CLIENT ACCOUNT	647
MSCO CUSTOMER SECURITIES	618
ザバンクオブニューヨーク&ジャスディックノントリーティアアカウント	591
アーレスティ取引先持株会	574
スズキ株式会社	565

所有株数別株式分布



所有者別株主分布



経営基本方針

常に生きいきと活動し 理論と実験と 創意と工夫を尊重して
品質の優れた製品と 行き届いたサービスを提供しよう

R S T W a y

「誠実」 「率先」 「スピード」 「成長」 「挑戦」

品質方針

私たちアーレスティは

- お客様がアーレスティから買って良かったと思っていただける製品やサービスを提供します。
- 定められた決め事を守り、お客様の視点で正直にそして良心に従って活動します。
- お客様により良い製品やサービスが提供できるよう改善を続けます。

2011年7月31日 改1

環境方針

1. 私たちは私たちの開発、生産、販売、廃棄の活動が地球環境と深く関連し影響を与えていることを明確にとらえ、環境目的・目標・実施計画を定め、それらを必要に応じて見直し、環境保全活動の継続的な改善をはかります。
2. 私たちは国・地方公共団体・利害関係者などの環境規制、規則、協定などの要求事項を順守し、さらに技術的・経済的に可能な範囲で自主基準を定め、一層の環境保全に取り組めます。
3. 私たちは特に次の項目について優先的に活動し、環境保全と汚染予防に取り組めます。
 - ① 大気汚染、水質汚濁に関する施設・工程の管理・改善を徹底します。
 - ② 廃棄物の再資源化100%を維持します。
 - ③ 廃棄物総排出量の減量、アルミリサイクル事業の拡大を推進し、循環型社会へ貢献します。
 - ④ CO₂排出の抑制をはかり、地球温暖化防止への配慮をします。
 - ⑤ 環境に配慮した製品及び商品の開発・設計に取り組めます。
4. 私たちは従業員一人ひとりの環境保護意識の向上をはかるため、教育・啓蒙活動を継続的に行います。
5. 私たちは良き企業市民として、地域社会の環境保全に努め、地域との共生をはかります。

～ 私たちはこの環境方針を社内外を問わずに公表いたします ～

2005年4月18日 改2

CONTENTS

■ 企業情報／株式情報	2	■ 環境活動	15
■ 経営基本方針／品質方針／環境方針	3	■ 環境目標と実績	16
■ 株主・投資家の皆様へ	4	■ マテリアルフロー	17
■ 本部長メッセージ	6	■ 安全衛生	18
■ トピックス	8	■ 生きいきと働ける環境に	19
■ 連結財務ハイライト	9	■ 地域社会とともに	20
■ 事業の概要	10	■ グローバル展開	21
■ コーポレートガバナンス	14	■ 拠点紹介	22

株主・投資家の皆様へ



グローバル成長を目指して

昨年度、創業75周年の年に長年の夢であった東京証券取引所市場第二部から一部への指定替えとなりました。1961年に二部に上場して以来、お客様、株主の皆様、お取引先各社の長年のご支援とご協力のおかげでようやく一部となりました。ありがとうございました。

さて、アーレスティは75周年を終え次の節目100周年に向けて一步を踏み出したところです。ダイカストの国内需要は少子高齢化もあって緩やかに減少していくと考えていますが、海外需要は新興国を中心とした自動車需要の拡大に伴い成長が続いています。アーレスティは、グローバル生産体制を更に拡充し増加する海外需要と共に成長を続けてまいります。長年蓄積した技術

力をベースにものづくりを究め進化させ、特にエンジンやトランスミッションに用いられる大型で難易度の高いダイカスト部品のグローバル供給能力向上に努めてまいります。

中期経営計画で定めた2015年度売上高1,250億円は、円安の影響もあり2013年度1,267億円と二年前倒しで達成いたしました。収益面では、営業利益率4%に対して3.5%と未達ではありましたが下期に大きく改善が進みました。ROA3%、ROE8%については、旧浜松工場の土地売却などがありましたのでそれぞれ5.1%、13.4%と達成していますが一過性であります。2013年度に2015年度の売上目標を達成いたしましたので、中期目標を2016年度売上高1,430億円、営業利益率5%、ROA3%、

ROE7%と新たに設定いたしました。

2013年度は、リーマンショック以来低迷していた収益状況から脱却し始めた年となりました。国内では、浜松と豊橋工場の統合に伴う費用増に苦しんでいた東海工場の改善が進みました。北米では、低迷していたメキシコ工場の収益改善が進みました。アジアでは、操業開始3年目の中国合肥工場の単月黒字化を達成しました。インドは残念ながら依然苦しんでおりますが、来年度の黒字化を目指して改善に取り組んでおります。

このように各拠点の改善が進み出ております。全拠点において更に生産性の改善を進め、お客様に信頼されるダイカストを核としたグローバルTOP企業を目指して更なる成長を進めてまいりますので、引き続きご支援とご理解のほど宜しくお願いいたします。


高橋 新
 代表取締役社長
 最高執行責任者

10年ビジョンと中期経営計画

当社グループの長期的な経営の方向性を示した「10年ビジョン」は、「ダイカストを核としたグローバルTOP企業」となることを基本方針に、「ものづくりを究め、ものづくりを進化させる」ことをスローガンとしてあるべき姿を描き、具体的な指針・手段としての方針を定めております。

「10年ビジョン」をベースとしつつ、グローバル需要拡大に対応すべく中国・北米を中心とした海外ダイカスト事業の拡大、国内需要の縮小を見据えた効率的な生産体制の確立を進めると共に、ものづくりに焦点を当てた方針を「1315 3ヵ年アーレスティ方針」として掲げ、次の4つを柱として、全従業員が積極的に活動し計画達成を目指して全力で取り組んでおります。

1 最善なものづくりの追求と共有

現場と設計が一体となったものづくりの再構築、全拠点で同一の品質・生産性の実現、生産性の向上等の施策を展開

2 ものづくりの現場で活かす技術開発

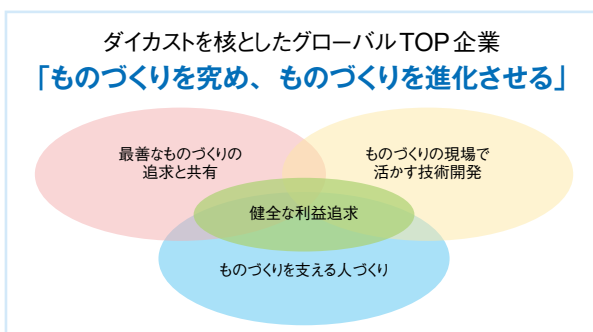
ものづくりを究めるための技術ロードマップにもとづく施策、パワートレイン以外の市場の開拓等の施策を展開

3 ものづくりを支える人づくり

実践に裏づけされたスキルを持つ人づくり、3現・2原に基づいた活動ができる技術者の育成等の施策を展開

4 健全な利益追求

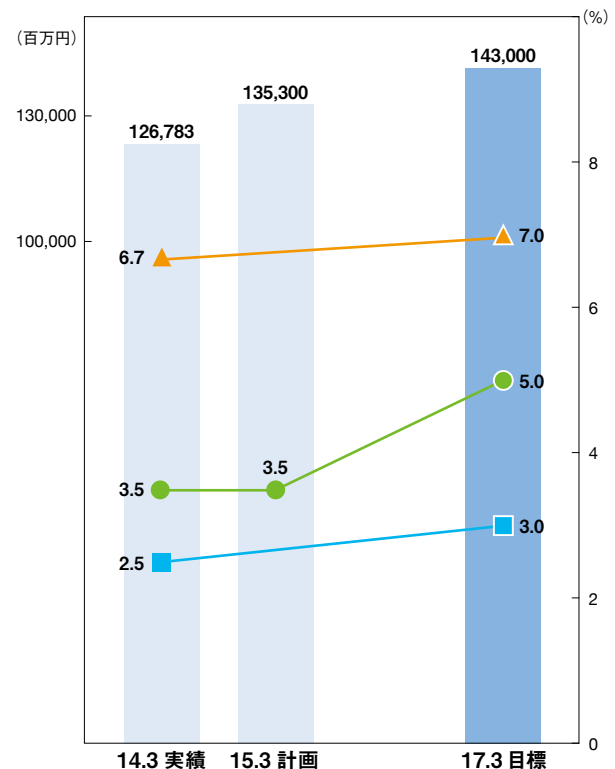
収益力向上による持続的な企業成長と成長市場への展開、業務の効率化、投資効率の高い加工設備構想の実現、工程別・課別コストの見える化による収益管理レベルの向上等の施策を展開



■ 中期経営計画の目標値

■ 連結売上高 —■ 総資産当期純利益率 (ROA)
● 売上高営業利益率 ▲ 自己資本当期純利益率 (ROE)

※ 2014年3月期のROA、ROEについては旧浜松工場跡地売却益(2,282百万円)及び投資有価証券売却益(838百万円)を控除し、算定したものです。



本部長メッセージ

更なるグローバル成長のために

取締役専務執行役員
管理本部長

石丸 博



2013年度を振り返ると、75周年記念式典、東京証券取引所市場第一部への指定替え、増資による資本増強、東京本社移転など大きな節目となるイベントがありました。

そのような中グローバル企業として成長を進めるべく、管理本部では、国内外で効率的な業務遂行ができるよう、社内規程などのアーレスティスタンダードの整備推進、そしてグローバルでの勘定科目や償却方法の統一によるさらなる決算スピードのアップを目指しています。人

材面では、グローバルで活躍できる人材の育成を強化するとともに、コミュニケーションの改善による職場の活性化を推進していきます。また、海外工場を含め監査結果を反映した改善活動で、安全な職場環境づくりも進めます。さらに、今年度よりITシステム課を部として独立させ、ITシステムの活用による業務の効率化を加速させていきます。横串機能部門である管理本部は、アーレスティのグローバルでの成長に貢献していきます。

得意に帆をあげて

取締役専務執行役員
製造本部長

野中 賢一

顧客のゆるぎない信頼を得られるように、社員が誇りをもてるように、さらにものづくりを追究し、進化させていきます。

いままでの10年、当社は米国、タイに加えてメキシコ、中国、インドに事業展開を行ってきています。需要が急激に拡大している状況の中で、グローバルに顧客の期待に応えるため

に、基本を大事に設計と現場が一体になるような活動ができるよう、さらに「ものづくりを究める」ことを推進していきます。

これからの10年、「ものづくりを進化させる」ための技術ロードマップの実現を愚直に進めていきます。そして、得意に帆をあげることができるように邁進してまいります。



成長戦略成功のために

常務執行役員
営業本部長

金田 尚之



アーレスティの10年ビジョンを達成する為、スピード感を持ちつつも周到に準備してから事を始め、とにかく相手に先んじる事が必勝の道と信じ、活動をしたいと考えています。

そして、国際社会の中で競争力を維持していくという緊張感を常に持ち、好奇心を持って積極的に世界を知る事で得る経験を自らの糧とし、行動をしていきます。

厳しい競争に打ち勝つべくアーレスティ一丸となり、ベクトルを合わせて進んでまいります。

人材は競争力の源泉と言えます。私は企業同士の競争は究極的には人と人の競争だと思います。一人一人が自ら研鑽を怠らず個々の目標を達成させることで、アーレスティ成長戦略を成功させたいと考えています。

「グローバル品質向上を支えてゆく」

その為の更なる基盤強化

アーレスティは、お客様と共にグローバルでの成長を続けています。

現在、日本、中国、インド、タイ、北米で事業展開しております。プロのダイカストメーカー、そしてお客様の良き事業パートナーとして、いつでも、どこかの拠点においても新規品を安定的に立ち上げ量産することで、お客様に十分満足して頂ける商品をお届け出来るよう更なる改善を続けます。

執行役員
品質保証本部長 兼 品質管理部長

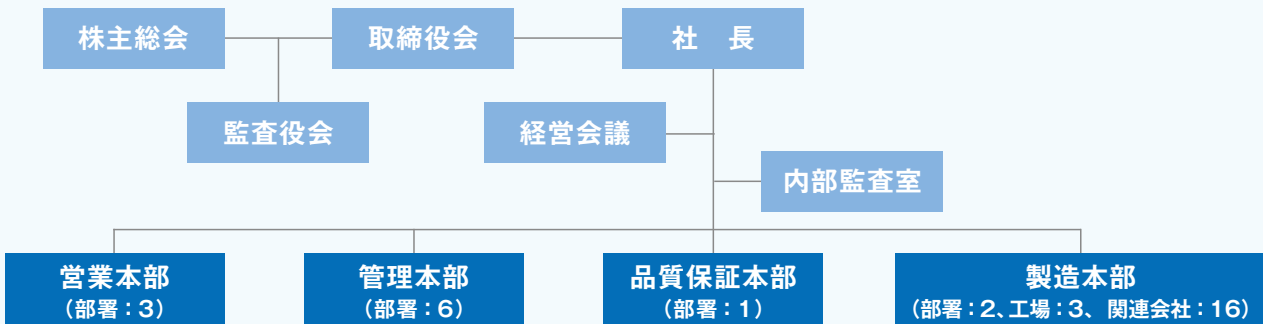
荒井 弘司

その為には常に基本に対し忠実でありながら貪欲な技術追求、全従業員の知識と経験、工夫を活かした、強固な「ものづくり」の基盤が重要です。

品質保証本部は、グローバルでの強固な「ものづくり」の基盤強化に取り組み、品質レベル向上とその高位安定の為、これまで以上に取り組みを加速していきます。



アーレスティグループは、営業本部、管理本部、品質保証本部、製造本部の4本体制を採用しています。



あゆみ

- 1938年 6月 ● 当社の前身志村アルミニウム株式会社創立
アルミニウム合金地金、ダイカスト製品、アルミニウム砂型鋳物の製造を開始
- 1943年 11月 ● 扶桑軽合金株式会社を設立、ダイカスト製品、アルミニウム砂型鋳物の製造を開始
- 1960年 3月 ● 株式会社日本精密金型製作所
(現：株式会社アーレスティ ダイモールド浜松)を設立
- 7月 ● 扶桑軽合金株式会社浜松工場操業開始
- 1961年 10月 ● 扶桑軽合金株式会社の株式を東京証券取引所第2部に上場
- 1962年 4月 ● 東海精工株式会社(現：株式会社アーレスティプリテック)設立
- 1963年 3月 ● 京都ダイカスト工業株式会社豊橋工場(現：東海工場)操業開始
- 1971年 3月 ● 栃木フソー株式会社(現：株式会社アーレスティ栃木)を設立
- 1972年 3月 ● 株式会社ダイテック(現：株式会社アーレスティダイモールド栃木)を設立
- 1976年 9月 ● 熊本フソー株式会社(現：株式会社アーレスティ熊本)を設立
- 1981年 3月 ● 株式会社ダイテック熊本工場(現：株式会社アーレスティ ダイモールド熊本)操業開始
- 1984年 7月 ● 扶桑軽合金株式会社熊谷工場操業開始
- 8月 ● 扶桑軽合金株式会社東松山工場操業開始
- 1985年 5月 ● パスカル販売株式会社(現：株式会社アーレスティテクノサービス)を設立
- 1988年 5月 ● Ahresty Wilmington Corporation を設立
- 10月 ● 社名を扶桑軽合金株式会社より株式会社アーレスティに変更
- 1989年 10月 ● 株式会社アーレスティ'89年度デミング賞実施賞(中小企業賞)受賞
- 1997年 2月 ● Thai Ahresty Die Co., Ltd. を設立
- 3月 ● 株式会社アーレスティISO9001 (建材) 認証取得
株式会社アーレスティISO9002 (ダイカスト・アルミニウム) 認証取得
- 2001年 3月 ● 株式会社アーレスティISO14001 認証取得
- 2002年 7月 ● Thai Ahresty Engineering Co., Ltd. を設立
- 2003年 8月 ● 広州阿雷斯提汽车配件有限公司を設立
- 10月 ● 京都ダイカスト工業株式会社と株式会社アーレスティが合併
- 11月 ● 第20回素形材産業技術表彰にて「経済産業大臣賞」受賞
- 2005年 3月 ● 阿雷斯提精密模具(広州)有限公司を設立
- 4月 ● パスカル工業株式会社と菅原精密工業株式会社が合併し、社名を株式会社アーレスティ山形に変更
- 6月 ● 本社を東京都中野区中央に移転
- 2006年 6月 ● Ahresty Mexicana, S.A. de C.V. を設立
- 9月 ● テクニカルセンター開設
- 2007年 1月 ● Ahresty India Private Limited を設立
- 2010年 8月 ● 合肥阿雷斯提汽车配件有限公司を設立
- 2011年 4月 ● 浜松工場と豊橋工場を統合し、東海工場として再編
- 2013年 10月 ● 本店・本社を愛知県豊橋市に移転(旧本社を東京本社に)
- 2014年 2月 ● 東京本社を東京都中野区本町に移転
- 3月 ● 東京証券取引所市場第2部から同市場第1部銘柄に指定

トピックス

国内

アーレスティプリテック 豊橋工場増築

オートバイ・自動車・汎用機、主要構成部品の精密機械加工を行う株式会社アーレスティプリテックの豊橋工場（アーレスティ貸与）の増築を2013年3月に開始し、7月末に竣工しました。中長期的な国内ダイカスト市場の縮小を見据え、プリテック小豆餅工場を閉鎖し豊橋工場に集約することにより、プリテックのみならずアーレスティグループとして、より効率的な生産体制の構築を目指すものです。



アーレスティプリテック豊橋工場 増築エリア

アーレスティプリテック(2014年4月末現在)
 (工場) 本社工場、豊橋工場、浜北工場、東三方工場、高丘西工場
 (豊橋工場 建屋面積) 約8,000㎡ ※内、増築面積 約2,600㎡

アジア

アーレスティインディア 工場拡張

Ahresty India Private Limitedは、生産量増加に合わせた製造、加工設備の増設と倉庫スペースの確保のため、2013年9月より工場の拡張を進めています。竣工は2014年7月を予定しています。

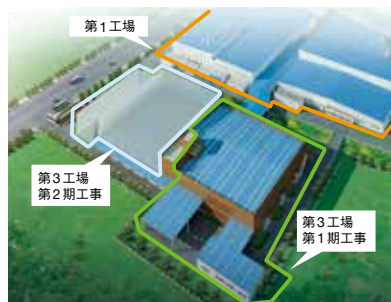


第5期拡張工事竣工後の工場外観イメージ

アーレスティインディア(2014年4月末現在)
 (建屋面積) 約12,200㎡
 (拡張予定面積) 約3,034㎡ (鑄造:1,274㎡、加工:1,760㎡) 予定
 (鑄造機台数) 14台 ※2014年8月にかけて3台増設予定

広州アーレスティ第3工場建設 第2期工事着工

広州阿雷斯提汽车配件有限公司は、近隣に賃借していた3つの工場を集約し、物流等の効率化を図り増産に対応していくため、第3工場を建築しています。2013年4月に竣工した第1期工事では加工と製品出荷準備のスペースを、10月に着工した第2期工事では事務所棟と製品倉庫を建築しています。第2期工事は、2014年9月の竣工を予定しています。



第1工場と第3工場 第1期工事、第2期工事エリア

広州アーレスティ
 (2014年4月末現在)
 (建屋面積)
 第1工場 約26,300㎡
 第2工場 約10,400㎡
 第3工場 (第1期) 約16,000㎡
 (第2期) 約8,700㎡ 予定
 (鑄造機台数) 31台

合肥アーレスティ 東風日産乗用車会社へのエンジンブロック量産納入を開始

合肥阿雷斯提汽车配件有限公司は、日産自動車株式会社の子会社、東風汽車有限公司の乗用車事業部、東風日産乗用車会社へのエンジンブロック量産納入を2013年8月より開始しました。日産自動車株式会社向けのエンジンブロック受注は、合肥アーレスティだけでなくアーレスティグループとしても初めてです。この製品は東風日産が中国で生産する1,500ccクラスの車種に搭載されています。



搭載製品画像(エンジンブロック)

北米

アーレスティメヒカーナ 生産能力を増強

Ahresty Mexicana, S.A. de C.V.は、新規受注への対応及び生産能力増強のため、2014年4月より鑄造工場の増床工事を行うと共に、2015年度までに鑄造設備の増設を図ります。増床工事の竣工は9月末を予定しています。

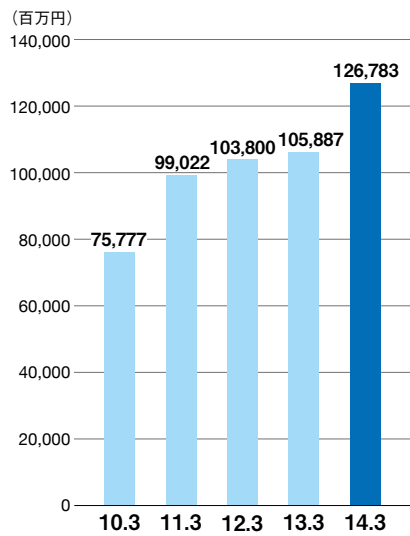


アーレスティメヒカーナ鑄造工場増床エリアイメージ

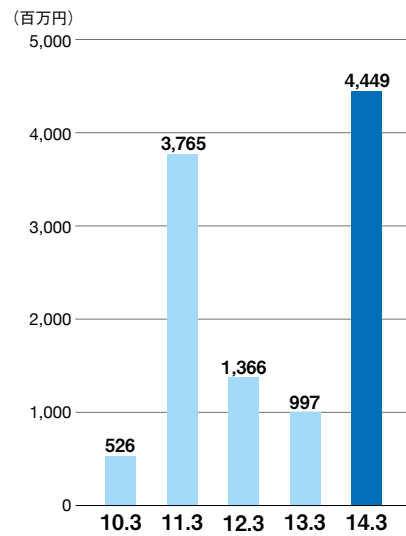
アーレスティメヒカーナ(2014年4月末現在)
 (建屋面積) 約32,200㎡
 (拡張予定面積) 約920㎡ 予定
 (鑄造機台数) 22台 ※2015年8月までに5台増設予定

連結財務ハイライト

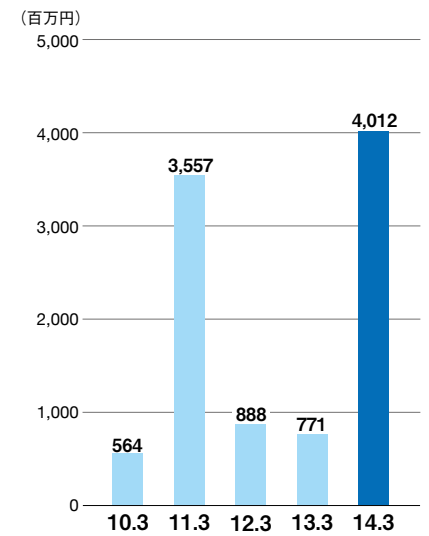
売上高



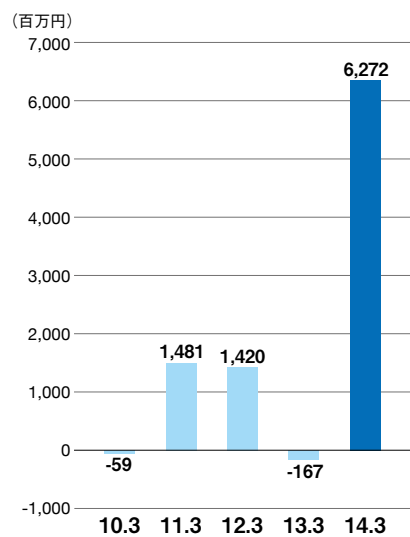
営業利益



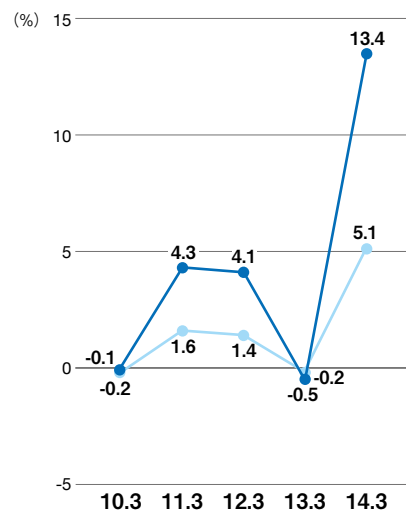
経常利益



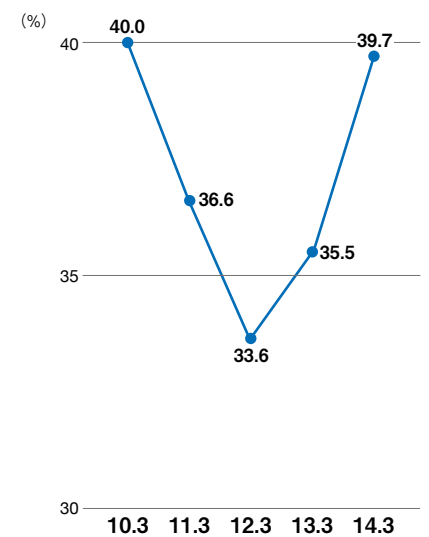
当期純利益



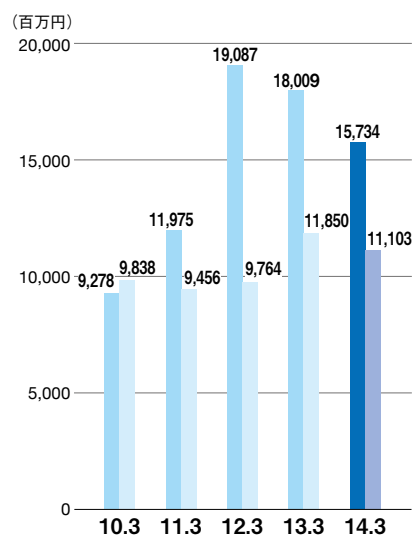
自己資本当期純利益率(ROE) 総資産当期純利益率(ROA)



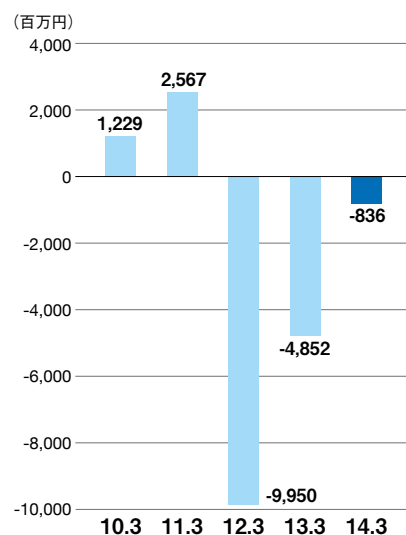
自己資本比率



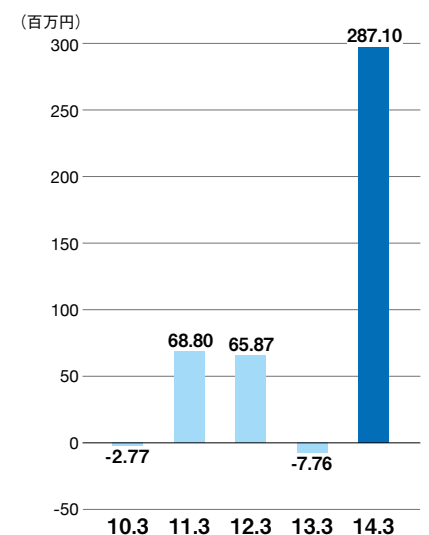
設備投資額^{※1} / 減価償却費^{※1}



フリー・キャッシュ・フロー^{※2}



1株当たり当期純利益^{※2}

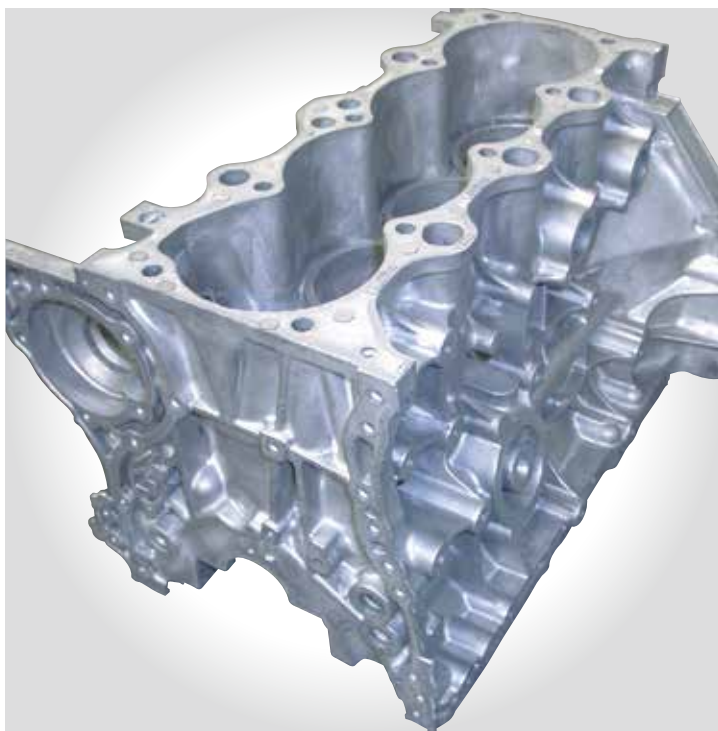


※1 金額は金型を含みます。 ※2 フリー・キャッシュ・フロー=営業活動によるキャッシュ・フロー - 投資活動によるキャッシュ・フロー

事業の概況

ダイカスト

他社に先駆けて新技術を開発 ダイカスト業界でトップレベルの信頼を獲得



主要なダイカスト製品

アーレスティが生産するダイカスト製品の8割は四輪自動車の部品です。その他に、オートバイ、発電機や船外機部品なども製造しています。

- アルミダイカスト製品
 - エンジン用
 - トランスミッション用
 - 足回り部品 など
- マグネシウムダイカスト製品
- 金型鋳物製品(グラビティーダイカスト)
- その他
 - ダイカスト用金型
 - ダイカスト周辺設備
 - 中古ダイカストマシン再生販売

ダイカスト製品の特徴

ダイカストのダイ (Die) は金型、キャスト (Cast) は鋳物を意味しますが、一般的な意味のダイカストは、金型を用いて高速、高圧鋳造した鋳物やその製法を表します。

ダイカスト製品の特徴は、生産性の高さと寸法精度に優れており鋳肌が美しいことです。

表面が滑らかな製品を製造することができるため、その後の加工処理が少なく済む利点があります。ダイカストのそのような特徴から複雑な形状で大量生産が必要な自動車部品などに多く用いられています。

アーレスティの主力事業はアルミニウムダイカストです。自動車産業の発展とともに事業規模を拡大し、売上を伸ばしてきました。

多様化するニーズに応える一方で、ダイカストのネック技術の原因解明を行ってきた結果、他社に先駆けて新技術を次々と開発。従来ダイカストでできなかったものづくりを可能にし、品質や生産効率を向上させるなど、ダイカスト業界での地位を確立しています。

今後も、アルミニウムダイカスト、マグネシウムダイカストにおいて、軽量化、リサイクルを通して環境保護に貢献できるよう、さらなる技術革新を目指していきます。

アーレスティは、自動車のエンジン、トランスミッションなどを中心に、様々なダイカスト製品を製造しています。

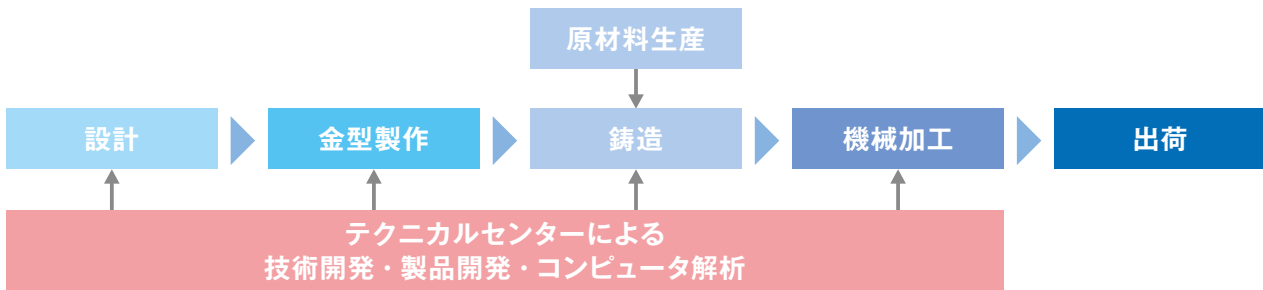
近年では、自動車の軽量化ニーズに伴い、ボディ・足回り関連部品のダイカスト化を積極的に推進しています。

パワートレイン

- エンジン
- トランスミッション



アーレスティのダイカスト生産体制 ～原材料生産から機械加工までの一貫通貫生産体制～



今期の業績報告

【ダイカスト日本】

国内では、主要顧客である自動車メーカーにおいて、上期ではエコカー補助金の終了等による生産の減少があったものの、通期で見ると、消費増税前の駆け込み需要対応、また、好調な北米市場向け生産、日中関係の動向を受けて落ち込んだ中国市場向けの生産回復もあり、当社でもこれらの影響を受け、売上高は62,228百万円(前期比2.6%増)となりました。収益面においては、減価償却方法の変更及び生産性改善等によりセグメント利益は3,656百万円(前期比507.9%増)となりました。

【ダイカストアジア】

中国では、主要顧客である日系自動車メーカーにおいて、日中関係の動向を受けて減少した自動車生産が回復しつつあることにより、当社においても受注が増加しました。また、インドでは、新規製品の量産本格化により受注が増加しました。これらの要因に加え円安による為替換算影響により、アジアでの売上高は24,143百万円(前期比44.3%増)となりました。収益面においては、中国でのロイヤリティ料率変更の影響やインド及び中国での先行投資による固定費の増加影響等があったものの、主に売上高の増加に伴う増益により、セグメント利益は180百万円(前期はセグメント損失521百万円)となりました。

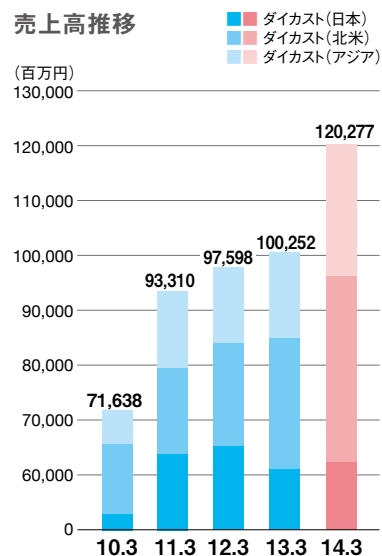
来期への展望

日本経済は消費増税前の駆け込み需要の反動減が懸念されるものの、政府による経済対策による下支え、海外経済の持ち直しや円安に伴う輸出増加及び内需への波及による設備投資の増加、雇用・賃金の増加等により後退局面に陥ることなく、回復していくことが予想されます。また、米国において債務上限問題に一定の目途がついたこと、中国では景気減速が一巡した

【ダイカスト北米】

北米では、アメリカでの好調な自動車販売の影響を受けた受注の増加や円安による為替換算影響等により、売上高は33,906百万円(前期比48.1%増)となりました。収益面においては、設備投資による固定費の増加影響等により、セグメント利益は509百万円(前期比31.7%減)となりました。

売上高推移



ことや中所得者層の拡大が底堅く推移することが見込まれるなど、海外経済は緩やかに回復することが予想されます。このような状況の中、中国、北米を中心とした海外ダイカスト事業の拡大を進めつつ、引き続き生産性の改善、コスト低減活動を推進し、収益改善を図ってまいります。

アルミニウム合金地金

業界トップクラスの設備とノウハウで、
多様な材料から高品質の製品を生産



アーレスティ熊谷工場は、1958年、業界初の日本工業規格 (JIS) 表示許可工場に認定され、1997年には、改正民活法におけるアルミニウム缶リサイクル施設として、全国で初めて通産省から認定を受けました。アルミニウム缶、サッシ、自動車の解体スクラップなど、多様な原料をもとに機械的性質に優れたアルミニウム合金地金を生産しています。アーレスティが持つ最新の設備、卓越したリサイクルのノウハウによって、工業用地金として活用されています。アルミニウムインゴットの月産能力は3,000トン、日本各地へと出荷され、高い信頼を得ています。

今期の業績報告

アルミニウム事業においては、受注量は年間を通じて堅調に推移したことにより、売上高は4,657百万円(前期比21.3%増)となりました。収益面においては、原材料高騰に販売価格が追従し切れないことに加えて重油・電気・ガス等エネルギー費高騰もあって、セグメント損失は6百万円(前期はセグメント利益50百万円)となりました。

来期への展望

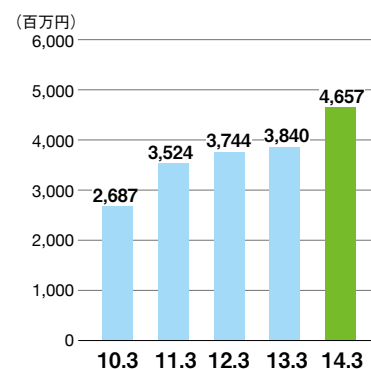
日本経済は、増税後の反動懸念があるものの「好循環実現のための経済対策」推進等により、堅調な内需に支えられた景気回復が見込まれています。

その一方で、為替相場変動によるエネルギー費用高騰の懸念や、景気回復に伴う原料不足・原料価格高騰の課題もあり、

当事業を取り巻く環境はより厳しいものとなっています。

そのような環境下でアルミニウムリサイクルの一翼を担う責任と果たすべき役割の重要性を認識し、エネルギー効率化及び生産性向上のための改善活動を推進して、原価低減と体質強化を図っていきます。

売上高推移



完成品

各方面で導入が進むフリーアクセスフロア 時代のニーズに応じて次々と新製品を開発

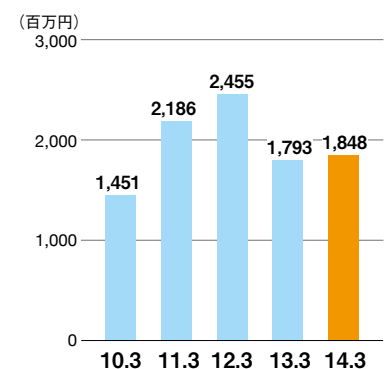


1962年、アーレスティは日本で最初のアリウムダイカスト製のフリーアクセスフロアパネル「モバフロア」を開発しました。フリーアクセスフロアとは、配線・配管を床下に納める二重床システムのことです。一般オフィスや病院などに幅広く利用されていますが、当社では特に半導体生産工場などのクリーンルームやデータセンター、コンピューター室用フロアパネルに注力しています。

中国江蘇省での施工の様子



売上高推移



今期の業績報告

完成品事業においては、主要販売先である半導体関連企業や通信会社のデータセンター向け物件等の受注により、売上高は1,848百万円(前期比3.1%増)となりました。収益面においては、価格競争の激化によりセグメント利益は66百万円(前期比14.7%減)となりました。

来期への展望

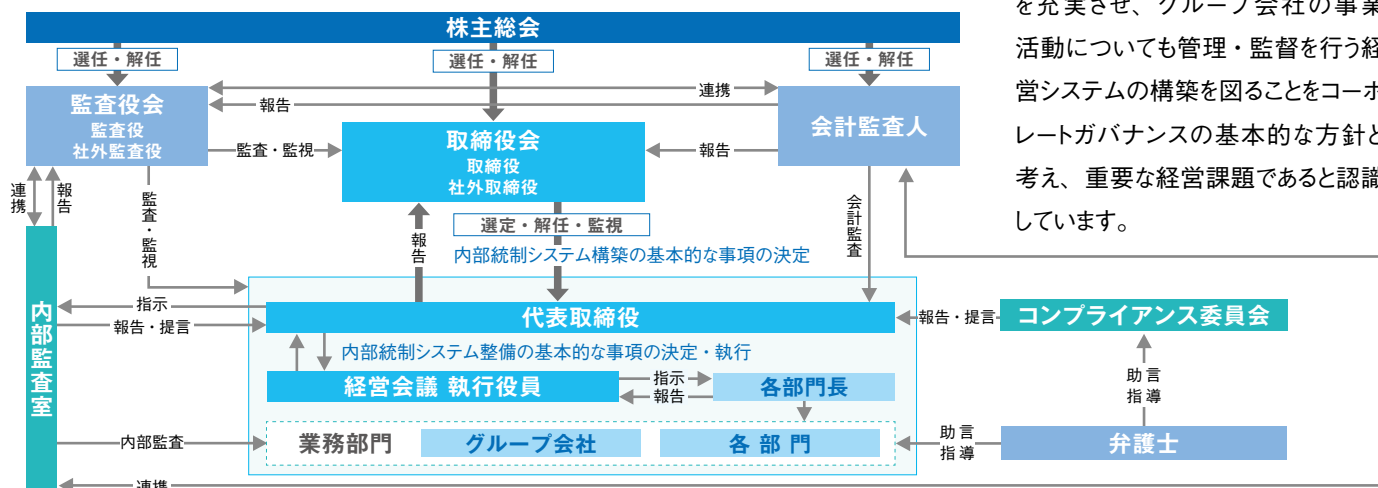
日本国内はビッグデータ化が今後も続く傾向である事から、データセンターなどの建設が増加する見通しであり、コンピューター室向けのモバフロアの拡販が期待できます。一方クリーンルーム市場については今後も低迷すると予測され、全体ではフリーアクセスフロアの市場は若干縮小すると予想しております。

しかし、市場が縮小しても企業努力を重ね競争力を強化し、当社のモバフロアを販売してお客様に貢献したいと考えております。また、海外においては特に中国市場を中心にクリーンルームの建設が引き続き多い事から、その市場に集中して拡販しグローバル全体では事業の成長を進めます。

コーポレートガバナンス

経営の健全性、透明性、遵法性を確保するため、グループ会社へのガバナンスも含めた内部統制システムとリスク管理体制を構築しています。また、ステークホルダーへの説明責任を果たすため、迅速な情報開示を行っています。

コーポレートガバナンス体制



内部統制システムとリスク管理体制を充実させ、グループ会社の事業活動についても管理・監督を行う経営システムの構築を図ることをコーポレートガバナンスの基本的な方針と考え、重要な経営課題であると認識しています。

コンプライアンス基本方針

アーレスティは、コンプライアンスの基準としてこの基本方針を制定し、役員及び従業員は、自らの行動又は業務遂行のための行動においてこれを遵守します。

1. 私たちは、全てのお客様の満足・信頼を旨とし、品質や安全性に配慮して、優れた製品と行き届いたサービスの提供をします。
2. 私たちは、お客様の安心・信頼を念頭に置き、あらゆる法令を遵守し、高い倫理観と責任感を持って行動をします。
3. 私たちは、公正で透明な取引関係を構築し、健全な事業を行います。
4. 私たちは、継続的な企業価値の増大を追求し、魅力ある企業を目指します。
5. 私たちは、お互いに人格・価値観を尊重し、健康かつ安全な職場環境を目指します。
6. 私たちは、会社財産を保護し、適正に取り扱います。
7. 私たちは、全ての利害関係者から不信を招くことがないように、健全かつ正常な関係を維持・確立します。
8. 私たちは、地球環境への配慮を会社の重点課題として認識し、環境保全に向けて自主的かつ積極的に行動をします。
9. 私たちは、グローバルな視野を持って、地域の文化や習慣を尊重し、社会への貢献に向けて行動をします。
10. 私たちは、企業市民として広く社会とのコミュニケーションを行い、地域の発展と快適で安全な生活のための活動に協力し、地域社会との共生を目指します。
11. 私たちは、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力及び団体に対しては、毅然とした態度をもって対応し、不当な要求や取引の要請等は断固として排除します。

アーレスティグループ行動規範

日常の業務遂行において遵守すべき基本的事項を定めた「アーレスティグループ行動規範」を制定しています。

- ① 法令等の遵守(規範の趣旨・遵守の責任に関する規程)
- ② 顧客・取引先との関係(自由競争と公正な取引等に関する規程)
- ③ 株主・投資家との関係(企業情報、インサイダー取引等に関する規程)
- ④ 従業員との関係(人権尊重、プライバシーの保護等に関する規程)
- ⑤ 会社財産・情報の管理(企業秘密、知的財産等に関する規程)
- ⑥ 社会との関係(寄付行為、政治献金等に関する規程)
- ⑦ 実施要領について

マネジメントシステム

アーレスティでは、アーレスティスタンダード(AS)という名称で各種業務の標準を文書に定め、業務の質の維持・向上を行っています。特に品質と環境においては、そのシステムが有効であることを第三者機関に認証頂いています。

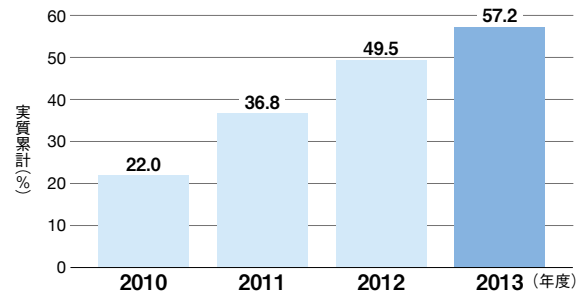


環境活動

公害防止活動を始め、地球温暖化防止や資源枯渇対策のための省エネ省資源活動など、生産活動による地球環境への負荷低減に取り組んでいます。

eco ライセンス

社員の環境に対する知識向上を図るため、「Ahresty eco ライセンス」という独自の社内試験制度を設けています。一般的な環境教養を学ぶと共に、アーレスティの環境への取り組みについても学ぶことで、私生活だけでなく仕事においても強い環境意識を持った人材を創出することを目的とした試験です。年に数回の試験を実施し、現在まで半数の社員が合格し、日々環境意識の高い活動を行っています。



アーレスティ・グリーン大会

アーレスティ・グリーン大会とは、環境改善活動の事例報告会で、2013年度で第11回の開催となりました。各事業所で力を入れた事例報告が行われ、経営層からも発表に対して激励と更なる改善の提起がされるなど、毎年継続的改善が期待できる報告会となっています。

またここで報告された効果的な活動は、他の事業所でも水平展開するため横断的な省エネ活動グループを設置して取り組んでいます。



グリーン大会 発表の様子

事業所	テーマ名	概要
東海工場	溶解炉導入に伴う重油原単位削減	東海工場への統合(旧浜松工場及び旧豊橋工場の統合)に伴い、省エネ検討した溶解炉導入とその原単位の削減の事例報告
アーレスティプリテック	生産工程の水使用量削減	工程内水使用量を削減するために、排水処理機の使用希釈水見直しを行い、更に水冷コンプレッサーの見直しを行った事例報告
東松山工場	金型循環水再利用及び使用電力の見える化	昨年報告した水使用量削減の継続的活動として、金型循環水を局部冷却水に利用した取り組み及び、電力設備の使用電力見える化に取り組んだ事例報告
熊谷工場	排ガスで発生する臭気への対応	合金アルミ材料を溶解する際に発生する臭気に対し、その低減を実施した事例報告
アーレスティ栃木	加工ラインにおける各種省エネ活動	エア漏れ防止活動及び加工工場新設にあたって実施した省エネ型照明器具の導入などの事例報告
アーレスティダイモールド浜松	金型製作のリデュース活動	金型製作における材料のムダをなくして、製作時の切粉排出量を削減した事例報告
アーレスティ山形	ダイカストマシン電気使用量の削減	電力量原単位の悪いダイカストマシンを調査して対策を講じ、電力使用量を削減した事例報告
アーレスティ熊本	工場循環水ポンプの電力削減	循環水ポンプをインバーター制御に変更し、循環水の電力使用量を削減した取組の事例報告

環境目標と実績

公害防止等の足元のことから、近年最も求められている CO₂ 削減、アーレスティならではの社内環境資格や社会貢献活動においても、結果を出せるように努めています。

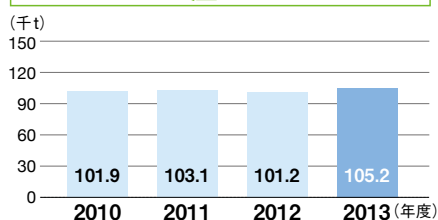
2013年度環境目標と実績

環境区分	中期目標・施策	2013年度目標	2013年度結果	
大気 水質 騒音等	大気汚染、水質汚濁、騒音公害などの環境問題を発生させない	社外流出、苦情の不適合をゼロにする	騒音に関する苦情が一件発生	×
	土壌汚染、地下水汚染などの蓄積性の汚染の処置と監視をする	土地利用履歴調査で高リスクの懸念があるポイントの調査を進める	対象となるポイントの調査を実施	●
廃棄物	廃棄物の総量削減を進める	前年度までに目標未達成の事業所は廃棄物総量2004年度比「50%」削減する	対象2サイト中2サイトとも目標未達成	×
省エネ 省資源	地球温暖化対策として、CO ₂ 削減を行う	CO ₂ 原単位の年1%の削減をする(目標 908.0kg-CO ₂ /t)	865.0kg-CO ₂ /t 目標達成	●
	工程に使用する水の使用量を削減する	2011年度水使用量に対し5%相当の削減を行う	5サイト中3サイトが目標達成	▲
グリーン 調達	グリーン購買を推進する	主要取引先の環境マネジメントシステム構築のため、エコアクション21要求事項チェック表の19項目のうち、12項目実施を目指す	対象6サイト中4サイトが目標達成	▲
		主要取引先の環境負荷物質管理体制の構築を進める	対象5サイト中3サイトが目標達成	▲
その他	環境に対する意識を高める	各事業所において正社員の40%以上を「Ahresty ecoライセンス」合格者とする。すでに達成している事業所は、事業所個別目標を設定する	57.2%の取得にて目標達成	●
	社会貢献活動を推進する	参画率を60%以上、一人当たりのエコポイント取得平均を130ポイント/年以上にする	参画率77.8%、一人当たりエコポイント取得平均162.5ポイントで目標達成	●

経年変化について

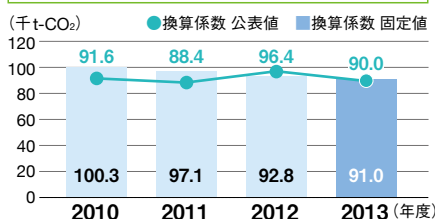
CO₂、排出物量、水使用量全て昨年度から削減しています。CO₂は活動の削減効果の評価するため、CO₂換算係数を過去から固定値で算出しています。

生産重量



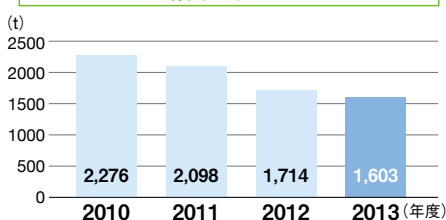
アーレスティが生産した製品の重量です。エネルギー使用量は生産重量に比例します。

CO₂ 排出量



燃料や電気の使用をCO₂量に換算した値です。なお、折れ線グラフで電力会社公表の換算係数で算出したCO₂量を併記しています。

排出物量



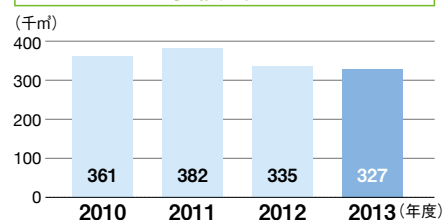
鉄やアルミを除く、事業所からのすべての排出物で、廃棄物、有価物も含んだ量です。

CO₂ 排出量原単位



CO₂排出量を生産重量で割った値で、1tの生産にいくらのCO₂を排出したかがわかります。

水使用量



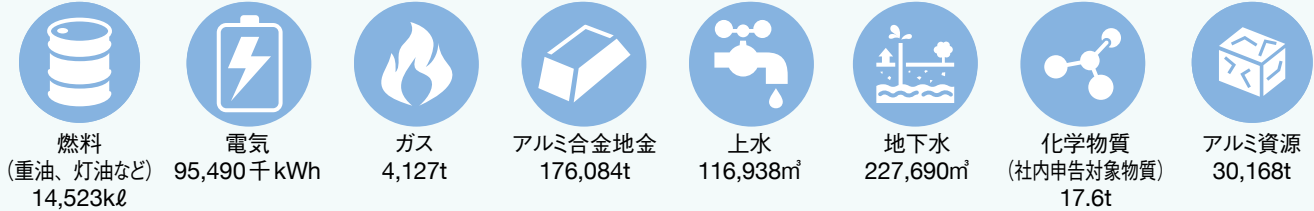
上水及び地下水の使用量です。2011年度より水資源の節減も目標に加えています。

※経年データの存在する国内主要6工場のみの数値

マテリアルフロー

様々なエネルギー、資材を使い、必要なコストをかけて製品を生産しています。

INPUT (使用)



対象期間：2013年4月1日～2014年3月31日
(単位：千円)

分類・主な取り組みの内容		環境保全コスト	
		投資額	費用額
事業所エリア内コスト			
内 訳	●公害防止コスト 排水処理設備管理・更新・設備導入、排ガス処理及び集塵装置の維持管理、騒音対策	21,929	84,910
	●地球環境保全コスト 省エネ活動(電気、重油)、省エネ設備導入、工場緑化、維持電力監視モニター	8,834	22,782
	●資源循環コスト 水の循環利用、廃棄物・資源ごみの処理(分別・処分)、再生油の使用	17,055	273,644
小 計		47,818	381,336
●上・下流コスト グリーン購入 有価物売却(費用額欄に収入額を記載)		—	29,719 62,671
●管理活動コスト 環境委員会、内部監査、ばい煙・ダイオキシン・排ガス・騒音測定、社内教育訓練、ISO14001 認証維持		—	18,365
●研究開発コスト 合金協会(環境保全テーマ)、地金中環境負荷物質調査		—	6
●社会活動コスト 工場見学の受入れ、地域清掃活動、近隣コミュニケーション活動、ボランティア活動、NPO 寄付		—	157
●環境損傷対応コスト 汚染負荷量賦課金		—	1,557
小 計		—	49,804
収入計		—	62,671
合 計		47,818	431,140

※投資は設備等固定資産になるもの 費用はその他
※電力のCO₂排出係数は、最新の電力会社公表値(2012年度値)を使用

OUTPUT (生産・排出)



安全衛生

アーレスティでは、安全最優先の原則のもと生産活動を行っています。
様々な安全衛生活動を行い、全社をあげて安全な職場を目指しています。

安全衛生の取り組み

安全衛生基本方針

安全で快適な職場環境づくりを目指し、法令及び社内規程を遵守すると共に、『安全はすべてに優先する』を基本に安全衛生活動を推進する。

安全衛生3カ年方針(安全衛生中期計画)

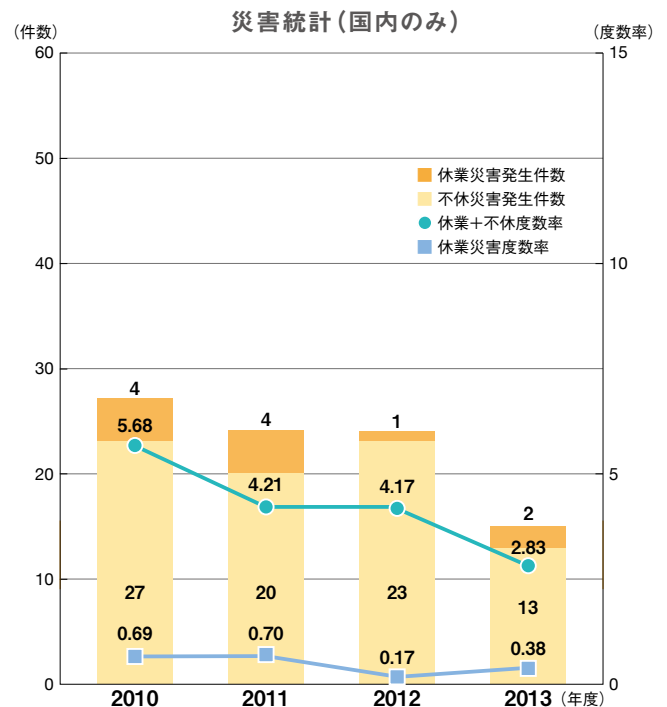
- リスクアセスメントの定着による危険職場の明確化と改善
- なぜなぜ分析を活用した安全衛生活動の展開
- 日常管理の強化による不安全行動の撲滅

アーレスティグループ安全スローガン

「しないさせない 見逃さない 危険な作業と不安全行動
決め事守って 感度を上げて みんなでつくろう安全職場！」

2013年度重点活動実績

- リスクアセスメントの有効活用による、職場の安全性の向上
- 事業所内で、リスクアセスメントを教えられるインストラクターの育成
- 人づくり、風土づくりを意識した安全感度向上活動でのルールを守る職場の実現
- 強化月間の設定による安全感度向上活動
- KY重点テーマ設定による安全感度向上活動
- 設備の共通安全仕様の決定



安全衛生手帳

国内で事業所ごとに個別発行していた安全衛生手帳を統合し、国内統一ルールとして発行しました。これをベースに、グローバルの安全ルールを定めていきたいと考えています。



月間強化テーマ活動

重大災害のリスク低減や、過去発生災害の再発防止のために、「設備安全の不足」「安全感度不足」の是正が必要と考え、引き続きリスクアセスメント実施や設備共通安全仕様の整備、毎月テーマを決めての職場パトロール徹底やヒヤリハット気になり、KY活動をグローバルで展開していきます。

2014年5月安全強化月間テーマ
『3定(定置・定量・定品)』

◆感度向上テーマ
【課長・係長・リーダー】(テーマハロー)
・決められたもの、量、場所にて保管・設置がされているか。
・不要なものが放置されていないか。
【従業員】
・決められたもの、量、場所に保管・設置を行い、
使用した物は片付けて、放置しない(エフ付けし対策する)。
※事例: 倉庫整理

◆重点KYテーマ
自覚徹底定着に行われている状態で、「3定(定置・定量・定品)」が守られていないために、災害の恐れがありそうな所や行動について、KY活動を行う。
※注意: 作業が決められた順番に決められておらず、作業エリアがなくなり、フォークリフトが作業場に侵入する。
※対策: 作業場フォークリフト通行時に作業が決められているため、歩行者が作業場につきまぎを監視したり、フォークリフトが作業場に侵入する。
※事例: 2013年10月10日発生 事例: 作業場整理

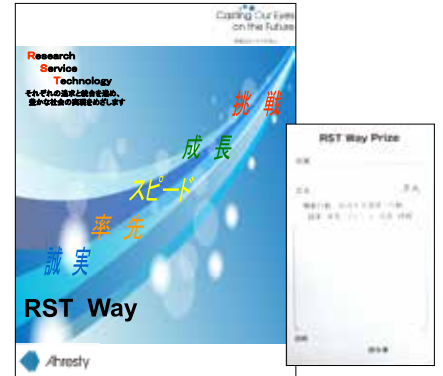
※2014年5月10日実施、事業所内の改善活動等に活用すること

生きいきと働ける環境に

アーレスティの一員として、生きいきと働くため、社員一人ひとりがスキルを向上させ、自ら生み出す製品に自信を持ち、優れた製品によって社会に貢献していきます。

RST Way と RST Way Prize

RST Way の「浸透促進」と「コミュニケーションの活性化」のためにグローバルで導入した制度が RST Way Prize（アーレスティ ウェイ プライズ）です。RST Way とは、働く社員が大事にしなければいけない5つの行動基準「誠実」「率先」「スピード」「成長」「挑戦」をいい、RST Way Prize はこれらに基づいた行動・意識に対して、表彰をする制度です。



教育体系

社員への安全衛生・生産管理・品質管理・環境保全等の教育は、全社員が受講する「共通教育」とマネージャー向けの「マネジメント教育」、各種の専門技術を学ぶ「専門教育」の大きく3つがあり、体系的に教育を受講出来る体制を整えています。特に専門教育では、アーレスティグループ内のスペシャリストから教育を学べる貴重な機会も設けられています。

社内コミュニケーション

国内社員とご家族向けの広報誌「WILL」とグローバルグループ広報誌「All for One」を発行しています。これらの社内広報誌では、その時々旬な話題について取り上げたり、社員の入社や定年退職、結婚や出産といった情報を掲載しており、通算443号を発行しています。

また壁新聞のピックスの1つとして、アーレスティで生産した自動車部品の採用状況を紹介し、自社の生産活動が身近に感じられるように取り組んでいます。

国内版グループ報「WILL」



グローバルグループ広報誌「All for One」



地域社会とともに

アーレスティは、地域社会に根ざした工場を目指して日々努力すると共に、自らが率先して社会へ貢献できる人材を育てています。地域社会と共にアーレスティは発展していきます。

社会貢献活動

アーレスティでは、会社の仲間と気軽に楽しみながら社会貢献が出来るよう、各種の社会貢献活動の場を提供し、活動推進しています。地域や河川敷の清掃、里山保全、献血、福祉、地域防犯パトロール等、事業所ごとに様々な社会貢献活動を継続して実施しています。



活動事例

- アーレスティの森づくり(里山づくり)
- 岩屋緑地里山ボランティア活動
- フラワーロード清掃
及び河川アダプト活動
- 介護施設クリーンボランティア
- 赤十字血液センター
献血ボランティア
- 浜名湖クリーン作戦
- 荒川の恵みと熊谷を考える集い
- 天竜川クリーン作戦
- 梅田川ふれあいクリーン作戦
など 計約80イベント

近隣コミュニケーション

アーレスティの工場では、ダイカストを鋳造する音や加工する音、運搬車両音、工場特有の臭気などが発生します。これらの発生源対策を進める一方、工場に隣接する住宅や自治会、企業などを訪問し、問題を感じたときにはご連絡頂くようお願いをしています。訪問時には本報告書が、アーレスティとはどういった企業なのかをご理解頂くためのコミュニケーションツールとなっています。

エコポイント制度

社会貢献活動に参加した社員へポイントを付与し、一定以上のポイントを取得した社員を表彰する制度を設けています。皆さんの前で表彰されることは恥ずかしいという意見もありますが、会社として表彰したいという想いを込めて、皆さんの前での表彰を推進しています。



グローバル展開

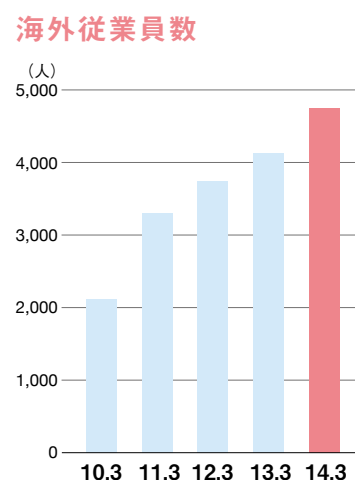
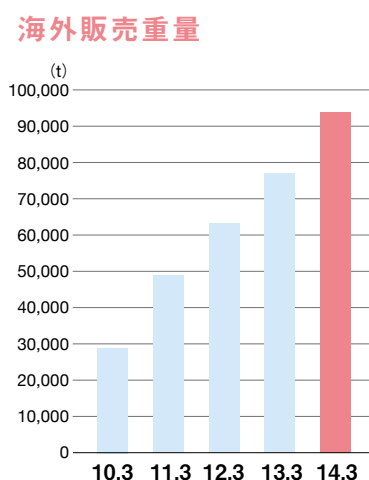
世界中のお客様のニーズに対応するため、積極的にグローバル展開を推進しています。

より早く効率的にお客様に製品を安定供給するために、アーレスティは積極的に海外展開を推進しています。アメリカ オハイオ州ウイلمントンに次ぎ、中国広州、メキシコ、インド、中国合肥にもダイカスト製造工場を設立し、順調に生産量を拡大しています。これまで培ってきた技術とノウハウを活かし、高品質

な製品をグローバルで製造・販売しています。また、タイ、広州、メキシコの金型拠点も含め、材料・金型・ダイカストなどすべての事業において相互補完体制を構築し、グローバルかつグループ・ワイドでの全体最適の実現を目指しています。



海外販売重量／従業員数推移



拠点紹介

主な海外事業所

Ahresty Wilmington Corporation



住 所: 2627 S. South Street,
Wilmington, Ohio
45177, U.S.A.
電 話: +1-937-382-6112
生 産 品 目: ダイカスト製品の製造、機械加工、
部品組付
月 産 能 力: 1,800t
敷 地 面 積: 170,000㎡

広州阿雷斯提汽车配件有限公司



住 所: 中華人民共和国広東省広州経済
技術開発区永和経済区新豊路
7号
電 話: +86-20-3222-1638
生 産 品 目: ダイカスト製品の製造、機械加工、
部品組付
月 産 能 力: 2,600t
敷 地 面 積: 81,800㎡

Ahresty Mexicana, S.A. de C.V.



住 所: Calle Industria Automotriz #20
Complejo de Naves Industriales
la Zacatecana Guadalupe,
Zacatecas C.P.98600, Mexico
電 話: +52-492-491-4010
生 産 品 目: ダイカスト製品の製造、機械加工、
部品組付、ダイカスト製品用金型製作
月 産 能 力: 2,100t
敷 地 面 積: 100,000㎡

Ahresty India Private Limited



住 所: Plot No. 194, Sector 4, Phase
II, Growth Centre, Bawal, Dist.
Rewari, Haryana India PIN
123501
電 話: +91-1284-26-4130
生 産 品 目: ダイカスト製品の製造、機械加工、
部品組付
月 産 能 力: 900t
敷 地 面 積: 58,500㎡

合肥阿雷斯提汽车配件有限公司



住 所: 中華人民共和国安徽省合肥経済
技術開発区青龍潭路2295号
電 話: +86-551-6367-9389
生 産 品 目: ダイカスト製品の製造、機械加工、
部品組付、フリーアクセスフロア製造
月 産 能 力: 1,000t
敷 地 面 積: 50,500㎡

Thai Ahresty Die Co., Ltd.



住 所: Hi-Tech Industrial Estate, #133
Moo1, Bhan Wha Sub-Dist
Bang Pa-In Dist, Ayutthaya
Province, 13160, Thailand
電 話: +66-35-351-655
生 産 品 目: ダイカスト製品用金型製作
敷 地 面 積: 16,940㎡

阿雷斯提精密模具（広州）有限公司



住 所: 中華人民共和国広東省広州経済
技術開発区永和経済区新業路70号
電 話: +86-20-8246-1670
生 産 品 目: ダイカスト製品用金型製作
敷 地 面 積: 8,748㎡

主な国内事業所

東海工場



住 所: 〒441-3153
愛知県豊橋市二川町字東向山80
電 話: 0532-41-0511
生 産 品 目: ダイカスト製品の製造
月 産 能 力: 3,200t
敷 地 面 積: 70,994㎡

東松山工場



住 所: 〒355-0812
埼玉県比企郡滑川町大字都
25-27
電 話: 0493-56-4421
生 産 品 目: ダイカスト製品の製造、機械加工、
部品組付、フリーアクセスフロア製造
月 産 能 力: 300t
敷 地 面 積: 13,774㎡

熊谷工場



住 所：〒360-8543
埼玉県熊谷市御稜威ヶ原284-11
電 話：0485-33-5161
生 産 品 目：アルミニウム合金地金の製造
月 産 能 力：3,000t
敷 地 面 積：47,105㎡

本社・テクニカルセンター



住 所：〒441-3114
愛知県豊橋市三弥町中原1-2
電 話：0532-65-2170
生 産 品 目：製品の設計・研究開発
敷 地 面 積：18,067㎡

(株)アーレスティ栃木



住 所：〒321-0215
栃木県下都賀郡壬生町
大字壬生乙4060
電 話：0282-82-5111
生 産 品 目：ダイカスト製品の製造、機械加工、
部品組付、フリーアクセスフロア製造
月 産 能 力：2,800t
敷 地 面 積：97,800㎡

(株)アーレスティ熊本



住 所：〒869-0521
熊本県宇城市松橋町浦川内36
電 話：0964-33-3111
生 産 品 目：ダイカスト製品の製造、機械加工、
部品組付
月 産 能 力：500t
敷 地 面 積：34,342㎡

(株)アーレスティ山形



住 所：〒992-0832
山形県西置賜郡白鷹町
大字荒砥乙65
電 話：0238-85-5233
生 産 品 目：ダイカスト製品の製造、機械加工、
部品組付、機械加工設備の設計・
製作、組付・検査機器設計・製作
月 産 能 力：400t
敷 地 面 積：35,156㎡

(株)アーレスティプリテック



住 所：〒433-8117
静岡県浜松市中区高丘東3-8-38
電 話：053-436-2121
生 産 品 目：オートバイ・自動車・汎用機の主要
構成部品の精密機械加工
敷 地 面 積：23,616㎡

(株)アーレスティテクノサービス



住 所：〒434-0013
静岡県浜松市浜北区永島938
電 話：053-584-1414
生 産 品 目：ダイカスト周辺機器の製造・販売・
修理 ほか
敷 地 面 積：9,241㎡

(株)アーレスティダイモールド浜松



住 所：〒431-1104
静岡県浜松市西区桜台5-3-10
電 話：053-436-1711
生 産 品 目：ダイカスト製品用金型製作
敷 地 面 積：13,320㎡

(株)アーレスティダイモールド熊本

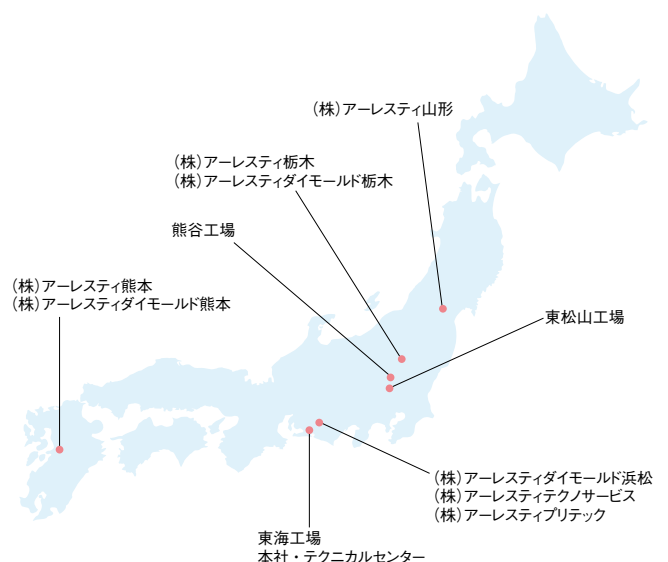


住 所：〒869-0521
熊本県宇城市松橋町浦川内12
電 話：0964-33-3536
生 産 品 目：ダイカスト製品用金型製作
敷 地 面 積：12,987㎡

(株)アーレスティダイモールド栃木



住 所：〒321-0215
栃木県下都賀郡壬生町
大字壬生乙4060
電 話：0282-82-2150
生 産 品 目：ダイカスト製品用金型製作
敷 地 面 積：6,612㎡



Casting Our Eyes on the Future

視線はまっすぐ未来へ

タグライン「Casting Our Eyes on the Future」は、その社名に込められた企業理念を実現すべく、アールスティで働く者すべての視線が、常にお客様、地球環境、そしてアールスティ自身の未来へ向けられ、Research（研究開発）、Service（サービス）、Technology（技術）において常に主導的リーダーとして前進しようという企業姿勢を具現化したものです。なお、「Casting」は「投げかける」という意味の他に、当社の主要事業である「Die Casting」の意味も込めています。



株式会社 **アールスティ**

東京本社

東京都中野区本町2-46-1

中野坂上サンブライトツイン5F

TEL 03-6369-8660 FAX 03-5358-5331

URL <http://www.ahresty.co.jp>

発行 2014年6月

